

重症筋無力症ならびにランバート・イートン筋無力症候群に関する研究

分担研究者：吉川弘明

所属施設名：金沢大学保健管理センター

研究要旨

我国における重症筋無力症（MG）とランバート・イートン筋無力症候群（LEMS）の実態を明らかにするため、全国疫学調査を実施した。2017年の推定受療患者数はMG：29210名（95%信頼区間：26,030～32,390）、LEMS：348名（95%信頼区間：247～449）であった。これより、有病率は人口10万人あたりMG 23.1（95% CI: 20.5-25.6）、LEMS 0.27（95% CI: 0.19-0.35）となった。

A. 研究目的

我国における重症筋無力症（MG）ならびにランバート・イートン筋無力症候群（LEMS）の実態を明らかにする。

B. 研究方法

「難治性疾患の継続的な疫学データの収集・解析に関する研究班」（以下、疫学班）と共同で1次調査と2次調査を経て患者数の推定と患者像の実態調査を計画した。研究計画は、「難病の患者数と臨床疫学像把握のための全国疫学調査マニュアル 第3版（2017年）」[厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）難治性疾患の継続的な疫学データの収集・解析に関する研究班 研究代表者 中村好一]に従い策定した。診断基準は、「厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者 QOL の検証研究班エビデンス班 研究代表者 松井 真」

が2016年に改訂した新MG診断基準、ならびに同班が2016年に策定したLEMS診断基準を用いた。

C. 研究結果

1次調査より2017年の推定受療患者数はMG：29210名（95%信頼区間：26030～32390）、LEMS：348名（95%信頼区間：247～449）であった。これより、有病率は人口10万人あたりMG 23.1（95% CI: 20.5-25.6）、LEMS 0.27（95% CI: 0.19-0.35）となった。MG患者の発症年齢（中央値[四分位範囲]）は全体で58[41-69]、男性は60[47-69]、女性は54[37-70]であった。男性の発症年齢は女性よりも有意に高かった（Wilcoxon-Mann-Whitney test: $p=0.0014$ ）。男女比は1:1.15で女性が多かった。

D. 考察

2005年の受診患者を対象に実施されたMG患者に対する全国疫学調査では、人口10万人あたりの有病率は11.8人と推計されている。したがって、MG患

者はこの12年間に2倍に増えていることになる。一方、LEMSの有病率が我国で判明したのは初めてであり、その意義は大きい。諸外国のデータと比較すると、同程度の結果であった。2次調査の結果は、現在解析が進んでおり、これによりさらに多くの知見が得られ、我国におけるMGとLEMSに対する理解が深まるものと期待される。

E. 結論

全国疫学調査を実施し、MGとLEMSの有病率を算定した。2次調査に基づく患者像の解明は現在、研究を継続中である。

F. 研究発表

(1) 国内

口頭発表 (6) 件

原著論文による発表 (0) 件

それ以外(レビュー等)による発表(4) 件

そのうち主なもの

発表論文

吉川弘明：重症筋無力症における胸腺異常の病因論再考 鈴木則宏、荒木信夫、宇川義一、桑原 聡、塩川芳昭(編)

Annual Review 神経 2018. 中外医学社、東京、pp250-256, 2018

学会発表

吉川弘明、中村好一、栗山長門、村井弘之、酒井康成、野村芳子、岩佐和夫、松井 真 重症筋無力症ならびにランバート・イートン筋無力症候群の全国疫学調査 一次調査結果 第60回日本神経学会学術大会、大阪市、2019 5.22-25

(2) 海外発表

口頭発表 (0) 件

原著論文による発表(4) 件

それ以外(レビュー等)による発表(0) 件

そのうち主なもの

発表論文

Iwasa K, Yoshikawa H et al. Time-series analysis: variation of anti-acetylcholine receptor antibody titer in myasthenia gravis is related to incidence of Mycoplasma pneumoniae and influenza virus infections. Neurological Research. 2018. (40): 102-109.

学会発表

知的所有権の取得状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし